

2020年を迎えて

皆さまあけましておめでとうございます。

公立みつぎ総合病院で院長代行をしております松本英男です。

2020年の幕が開けました。2020年といえばオリンピックとパラリンピックが56年ぶりに東京で開催されます。前回のオリンピックの様々な伝説を振り返ると、近年の各競技における日本選手の目覚ましい活躍を見て、果たしてメダルはいくつとれるのだろうと大きな期待に胸が膨らみます。強国に負けないくらいの、たくさんのメダル獲得は夢ではないような気も致します。メダルという結果だけでなく、選手の皆さんがこれまで流してきた血と汗と涙に日本中が感動し、拍手喝采する光景も目に浮かびます。2020年を一つの目標に掲げてきた方は選手以外にも大勢いらっしゃる、その夢が現実になるであろうことを強く望んでいます。

オリンピックやパラリンピックは夢の舞台にふさわしいのですが、もう一つは夢で消えてしまえばいい厄介な問題として、2020年問題が現実化します。

2020年問題とは、いわゆるバブル・団塊ジュニア世代と呼ばれる世代も次々と50歳代に突入していき、バブル期に大量に採用した企業の社内ポストなどが不足する見通しであること、東京オリンピック・パラリンピック後に地価が下がり空き家が増えること、大学入試制度が大きく変わることなどが代表的な例とされています。大学入試制度改革は少子化問題に起因します。

こうした問題は少子化により人口が減って、その構成比が逆三角形となり、以前のピラミッド型の時代とは異なった社会構造となっていくためにおこります。

厚生労働省は、高齢化社会の医療・介護問題を解決する方法として、保健・医療・介護・福祉を一体化する「地域包括ケアシステム」の確立を推進してきました。取り組んでいる地域も多くみられますが、果たして全国で達成できているのかはなはだ疑問に思うところです。地域包括ケアシステムの構築は医療・介護の問題ですが、これに加えて日々の暮らしに、「自助・共助・公助・扶助」の推進を薦めることも行政は提唱しています。

中山間地域や離島では、都会よりも深刻な高齢化が進み、まさに人口構成が逆三角形となっています。その地域にも人々の日々の暮らしがあります。その地域を愛する人々の医療や福祉を考えることはもちろんのこと、日々の生活が成り立たなくてははいけません。地域包括ケアシステムを完成させるためには、日々の暮らし、食べること、生活することまで含めた地域のコミュニティづくりが必要ではないかと考える今日この頃です。

地域包括ケアシステム発祥の当院がどれだけ地域に根付いた、生活・医療・福祉の場を提供できるかがこれからの社会の成否の試金石になるような気がします。尾道市・当院職員みんなで、協力しコミュニケーションを取りながら、一丸となってこの問題に取り組んでまいります。ご期待ください。



院長代行
松本英男

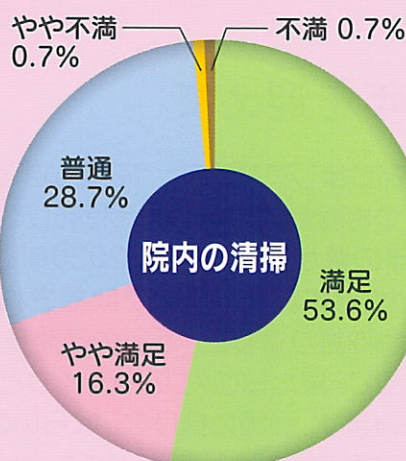
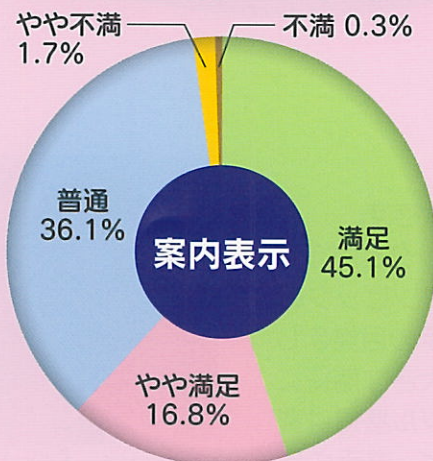
患者さまアンケート結果

令和元年9月に行いました患者さまアンケート調査の集計結果をお知らせします。
 外来340名、入院115名の方に回答していただきました。
 アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

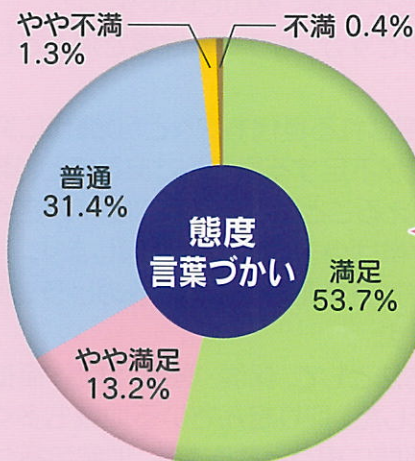


外 来

◆環境整備について

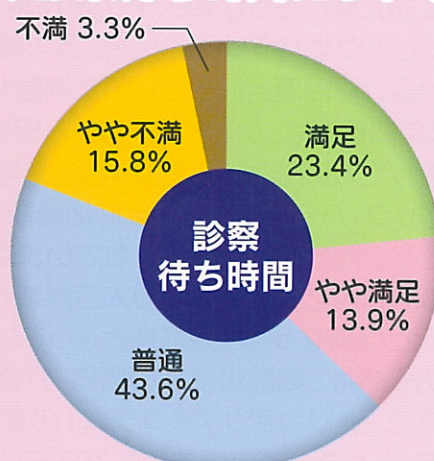


◆職員の接遇について



スタッフの皆さんが
 とてもやさしくありがたかったです。
 よくあいさつをしてくれて
 気持ちがいいです。

◆診察待ち時間について



ご意見

入院セットを利用できるのでしょうか。

回 答

12月2日から、CSセット(入院セット)を導入しました。CSセットをご利用いただくことで、衣類、タオルなどの持ち込みが不要となり、入院準備のお手間が軽くなります。

◆受付から診察までの待ち時間

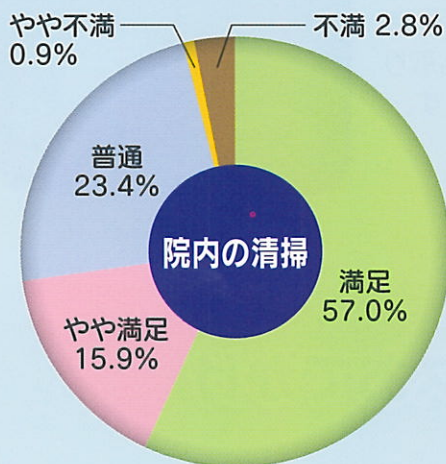
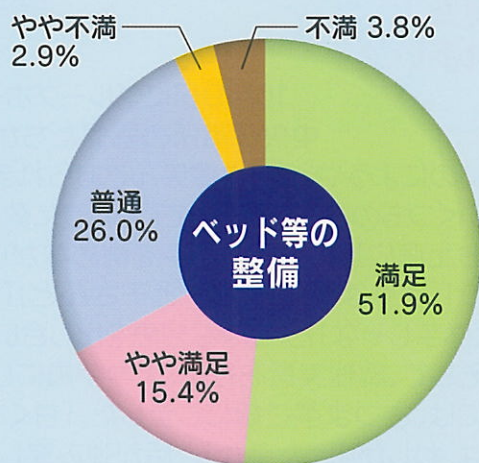
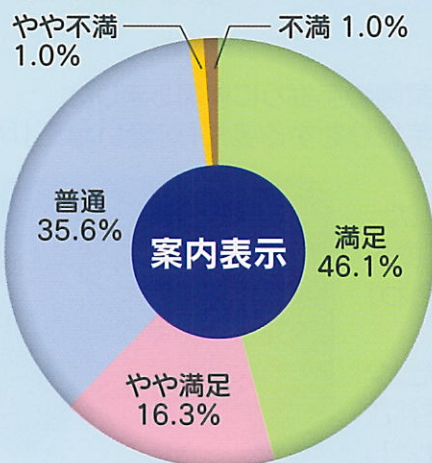


◆会計での待ち時間

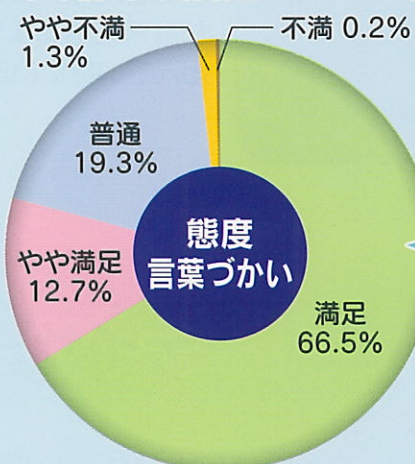


入院

◆環境整備について



◆職員の接遇について



患者、家族の気持ちに寄り添ってくださり、感謝しています。

いろいろなご意見をありがとうございました。

- 今後もしっかりと地域医療を守ってもらいたいと思います。これからも地域に愛される病院づくりに向けて頑張ってください。
- 回復状態について、定期的に先生から説明を受けたい。
- 待合スペースのエアコンが効きすぎていると感じることがあります。
- 家族が入院中に、リハビリで少しずつ回復するのを見て安心しました。

アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。



ご要望に基づき、満足度の低いところは一つひとつ改善を図り、「皆さまに愛される病院」をめざしてまいります。今後ともよろしく
お願いいたします。



病院長

地域密着型
特養
ふれあい

芋掘りは楽しいよ

10月9日にグループホーム「かえて」菜園の芋掘りに参加しました。
中央保育所の園児たちが一生懸命に芋掘りをする姿に「可愛いねえ」「小さいのにようやって」と微笑んでおられました。

いくつものさつま芋が出てくるたびに歓声があがりました。
お土産に頂いたさつま芋を眺めながら、「みんなで食べよう」「すぐはダメで、ちーと干さんと」「芋ご飯がええわ」「大学芋じゃな」と、色々な知恵を出し合いました。

そして、調理実習を行い、大学芋風にして食べました。夕食には、さつま芋ご飯にしました。「甘くておいしいで」「これは、わしが切った芋か」と話が弾み楽しいひと時をすごしました。

これからも、地域の方との交流を深め、利用者さまが笑顔で楽しみのある生活が継続できるよう今後も取り組んでいきたいと思ひます。



デイサービス
センター

デイサービスおでかけ

デイサービスセンターは、要介護状態等となった場合でも可能な限り居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、通所介護計画書に基づいて必要な日常生活上の支援や機能訓練等を行う事業所です。

この度、11月11日～15日の期間、リハビリも兼ねて外出行事を行いました。いつもは午後から入浴・作業療法・脳トレを行っていますが、この日は午前中に入浴を行い、午後から三原イオンに行きました。

買い物に行くことを楽しみにされ、いつもとはちょっと違う服装で、「全財産持ってきたー」と冗談を言われる方など、朝から皆さんウキウキされていました。三原イオンに到着すると、お目当ての品を探しに各々売り場に直行です。中には、ニット帽を「この色は派手じゃろー」「こっちの方がええ!」と言いながら選ばれる方や、店員さんや職員に相談しながら、じっくり服選びをされる方、いくつもの売り場をまわられる方や、食料品売り場だけで、しっかり買い物をされる方など、思い思いに過ごされていました。最後に、フードコートでコーヒーやソフトクリーム、たこ焼きを美味しくいただき楽しい時間となりました。

デイサービスセンターの中でみる様子とは少し違った、利用者さまの一面を感じることもあります。毎年、春と秋にはおでかけを行っていますが、これからも、楽しんで参加していただき、いきいきとした日常生活を送ってもらえるよう取り組んでまいります。



リハビリ
テーション
センター

見えざる思いを思いやる

リハビリテーション(以下、リハビリと略)といえば、どんなイメージですか？リハビリ＝機能訓練というイメージが強いと思いますが、これは正しい解釈ではありません。「リハビリテーション」という言葉の語源は、ラテン語でre(再び)habilis(ふさわしい)ation(状態にする)ということです。病院での機能回復練習もリハビリ、病気や障害からの家庭復帰、職場復帰もリハビリです。たとえ、排泄など身の回りのことができなくても「1日1回笑って過ごしたい」という希望を叶えるのもリハビリです。そして、①やりたいこと②できなくて困っていること③周囲からできるように期待されていることなど、「その人にとって大切なこと」ができるように支援するのがリハビリ専門職です。

リハビリテーションセンターでは、リハビリ研究の泰斗である大田仁史先生の『見えざる思いを思いやる』という言葉大切にしています。私たちリハビリ専門職は、その人がどんな思いでおられるか、を語ってもらえるような、身近で寄り添える存在でありたいと思っています。



元気はつらつ!! 健康づくりセミナー

要予約 **女性限定!!**
託児あり [未就園児先着3人]



3月2日(月)
13:30 ~ 15:30

***申込み締切**
2月25日(火)

女性のための健康セミナー
～人生は姿勢で決まる!歩き方を変えて、私を変える～

講師：ポスチュアウォーキングスタイリスト
板橋 千代美

- ◆内 容／講義・運動実技
- ◆対 象／概ね74歳までの尾道市民

- ◆定 員／15人(先着順)
- ◆場 所／みつぎいこい会館

【申込・問い合わせ先】 御調保健福祉センター TEL:0848-76-2235

第35回 御調地区健康福祉展

10月26日(土)・27日(日)に「第35回御調地区健康福祉展」を行い、多くの来場者でにぎわいました。



特別講演 中村 伸一先生



備後かわち太鼓(こども太鼓)



調剤体験コーナー



特別講演 小笠原 文雄先生



健康づくりコーナー



民生委員・児童委員による餅つき



ケアプランセンター「みつぎ」

当事業所は「要介護1～5」の認定を受け、介護保険の介護サービスを希望される方やご家族の要望をお聞きしながら、住みなれた自宅や地域で自立した生活が送れるように心身の状態やご家族の状況を考慮して適切なサービスが利用できるよう支援します。



次のような居宅介護支援（ケアマネジメント）業務を行っています。

- ① 要介護認定の申請代行と訪問調査
- ② サービス担当者会議（ケアカンファレンス）の開催
- ③ 居宅サービス計画（居宅ケアプラン）作成
- ④ 居宅サービス事業者、介護保険施設、保健福祉サービスの連絡・調整
- ⑤ モニタリング（利用者の意見等月々聞き取り、ケアプランに反映）
- ⑥ 利用者からの苦情の受付と対応

お気軽にご相談ください。



● 問い合わせ先 ケアプランセンター「みつぎ」 TEL 0848-76-2821

第8回 高校生医療体験セミナー開催

10月26日(土)

実際の医療現場での見学・体験を通して医師をはじめとする医療職の仕事や医療についての理解を深め、医療職を目指そうとする意欲を育むことを目的としております。

主なプログラム

- ・聴診・血圧測定・採血等模擬体験・BLS講習(救急蘇生)
- ・腹腔鏡ラボ、縫合体験・画像診断等・車いす、看護体験等

地域医療に興味があり、参加させてもらいました。普段体験することのできない貴重な経験ができ、自分の夢を叶えたいと思う気持ちが強くなりました。

模擬体験(BLS・腹腔鏡ドライラボ・ハーモニック体験等)



ドクターに教えてもらい縫合を体験しました



腹腔鏡ドライラボの体験をしました

この体験を通して、もっと医療に関する知識を深めていき、医療の仕事に就きたいという気持ちが強まりました。特別な1日になり、ありがとうございました。

今回の経験は将来の自分の夢を叶えた時のイメージができました。多職種の方と話することもでき、今後勉強をよりいっそう頑張る夢を実現したいと強く思いました。

職員の紹介

公立みつぎ総合病院に入職し2年目を迎えます。昨年度は老健みつぎの苑一般棟に勤務し、今年度から回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。勤務する場所が変わって



理学療法士
山垣内 彩加

も常に患者さまを第一に考え、患者さまに寄り添い、以前の生活に少しでも近づけるようなリハビリを行うことを心掛けています。様々な背景を抱える患者さまと関わる中で、私自身学ぶことも多く、理学療法士という仕事に責任を感じながら仕事をしています。

まだまだ未熟で力不足な点もありますが先輩方に相談しながら日々成長していけるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

公立みつぎ総合病院へ入職し7年目になります。

最近、プリセプターも任せていただけるようになり、指導の難しさを痛感しています。



看護師
安原 真歩

また、現在は整形外科、泌尿器科病棟に勤めています。退院調整に向けての指導なども行っており、住み慣れた地域での生活に戻りたいという患者さまやご家族の希望に沿えるよう、退院後の生活を予測しながら患者さまと日々関わっています。今後も入院中から退院後の生活を見据えスムーズに在宅生活へ移行できるようリハビリスタッフやソーシャルワーカーとも協力しながら努めたいと思います。よろしくお願いします。

介護福祉士として就職して10年目になります。現在はデイサービスセンターに勤務しています。デイサービスセンターでは、利用者さまに喜んでいただけるよう、入浴やレクリエーションの他、行事にも力を入れています。節分等の季節行事、春と秋に行う外出行事、作業療法で作成した作品をみつぎ図書館に展示させていただくなど企画しています。また利用者さまが不安や心配事があれば、少しでも力になれるよう努めています。



介護福祉士
竹國 美和

「楽しかった。また来るね」と皆さまが喜んで利用され、住み慣れた自宅で元気に安心して暮らせるよう、これからも支援していきたいと思っています。

現在、公立みつぎ総合病院で診療放射線技師として勤務し2年目になります。

社会人として初めての職場ですので、最初はいろいろな不安や焦りがありました。が、先輩方からの



放射線技師
平林 裕也

指導のおかげで少しずつ業務に慣れてきて、今では充実した日々を過ごせています。そのため、この一年と数カ月は特に過ぎていくのが早かったように感じました。

また今年度の5月、6月にCTとMRIが新しくなりました。これらの装置の性能も存分に引き出して、良い画像が撮れるように今後ももっと学んでいこうと思います。

これからも患者さまのお役にたてるように頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



介護予防センターでは3つの事業を行っています

理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、看護師、介護福祉士、生活相談員などの専門職が運動・栄養・口腔などの介護予防サービスを提供し、在宅で自立した生活が継続できるよう支援しています。

1. 介護予防通所サービス (火～金曜日 10:00～14:00)

要支援1・要支援2または事業対象者(基本チェックリストで該当の人)を対象に、専門職による運動器の機能向上・栄養改善・口腔機能向上サービスを提供しています。

2. 短期集中型通所サービス (月曜日 10:00～12:00)

要支援1・要支援2で介護予防給付等のサービスを利用していない人、または事業対象者(基本チェックリストで該当の人)を対象に、6か月間のプログラムを実施する事業です。

3. 基準緩和型通所サービス (月曜日 14:00～16:00・水曜日 10:00～12:00)

身体介護を要しない要支援1・要支援2または事業対象者(基本チェックリストで該当の人)を対象に、閉じこもり予防・生活機能の維持向上を目的とした運動やレクリエーションなどを行っています。



機器を活用して体力・筋力の向上



低栄養などを予防する食事のポイント



口腔ケアのコツを指導



介護予防体操で健康の保持増進



脳トレーニングで脳の活性化



レクリエーションでストレス解消



作品作りでつくる喜び、できる喜び



身近な食材を使ったかんたん調理実習



外出行事で四季の移ろいを感じる

「日常生活の動作が難しい」「転びやすくなった」「食べる時にむせやすい」「体重の減少が気になる」「外出の回数が減ってきた」など、ご自分やご家族のことで心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

介護予防センター
0848-76-2821

北部地域包括支援センター
0848-76-2495

御調保健福祉センター
0848-76-2235



2019年12月2日(月)から

CSセット®を導入しました!!

ケア・サポート

CSセットとは？

入院中に必要となる衣類・タオル類・日用品・紙おむつ類をお洗濯付の一日定額制でレンタルしていただけるサービスです！

①新サービス導入の目的

患者さま・ご家族の皆さまのさらなるサービス向上と、院内の感染予防ならびに清潔保持を目的として新たなサービスを導入させていただくことになりました。

②紙おむつの運用方法変更

現在紙おむつの運用は使用枚数やお持ち込み頻度によって増減しておりますが、一日定額制の料金形態での「紙おむつプラン」へと変更となります。



ケア・サポート

CSセット®ご利用のメリット

- ★洗濯のお手間が軽減出来ます
 - ★汚れてもすぐにお着替え可能です
 - ★常に清潔な衣類・タオル類をご使用いただけます
 - ★物品を買い揃える必要がございません
 - ★面会時のお荷物が減ります
 - ★緊急時にも即対応出来ます
 - ★共働き・一人暮らしの方も安心です
 - ★退院時に、購入した紙おむつ等が余ってしまうことがありません
- 



ご意見、ご感想をお聞かせください

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956
E-mail: tiiki@mitsugibyouin.com
ホームページは「みつぎ病院」で検索

患者さまならびに地域の皆さまと共に作成したいと考えて
おります。ご要望をお待ちしております。

発行：尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会